

2025（令和7）年9月13日（土）  
琉球新報朝刊23面（社会・1版）

WEB:（有料）<https://ryukyushimpo.jp/news/national/entry-4611414.html>

# 脾・腎臓同時に移植

## 脳死下、琉大病院で県内初

琉球大学病院（宜野湾市）は12日、愛知県の名古屋市長立大学医学部付属東部医療センターで脳死と判定された20代男性から摘出された脾臓と腎臓を、60代男性患者に県内で初めて同時移植したと発表した。

同病院と日本臓器移植

ネットワークによると、臓器提供した男性は重症頭部外傷で、本人の意思を示す書面はなく、家族が心臓や肺、肝臓などの提供を承諾した。2日午後4時33分に同ネットワークに連絡があり、3日午後と4日午前の2回、脳死判定があった。6日

正午に摘出を始めた。摘出された臓器のうち脾臓と腎臓を琉大病院に搬送し、1型糖尿病末期腎不全の男性患者に移植した。手術は6日午後7時41分から翌7日未明まで約8時間かかった。男性患者は、長期にわ

たり透析とインスリン注射を必要としていた。順調に推移すれば、どちらも必要なくなるという。琉大病院での脳死下での臓器移植は7例目。難度が高い脾臓移植については2021年に対応が可能と認定され、今回が初めての手術だった。琉大病院の鈴木幹男院長は「これまで県外での手術を余儀なくされていた方々も、沖縄で診断から術後の長期フォローアップまでできる体制が整った」としている。

（宮沢之祐）

2025（令和7）年9月14日（日）  
沖縄タイムス朝刊21面（社会・1版）

WEB:（有料）<https://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/1670171>

# 脾・腎臓同時に移植

## 60代男性に 琉大病院、県内初

琉球大学病院（宜野湾市）は12日、脳死と判定された男性から提供された脾臓と腎臓を60代男性患者に同時に移植したと発表した。脾臓と腎臓の同時移植は県内初で、同院での脳死下での臓器移植は7例目。

患者は長期の透析とインスリン注射を必要としていたが、4日に脳死判定された。

だが、今後順調に推移すればどちらにもせずに日常生活を送れる見込み。

日本臓器移植ネットワークによると、臓器提供した男性は20代。重症頭部外傷で名古屋市立大学医学部付属東部医療センターに入院していたが、4日に脳死判定された。

提供された臓器のうち、脾臓と腎臓を琉大病院へ搬送。6日夜から翌7日未明まで約8時間かけて手術した。

琉大病院の鈴木幹男院長は「臓器移植は多くの診療科と多職種の医療スタッフの協働が必要。これまで県外での手術を余儀なくされていた方々も、沖縄で診断から術後の長期フォローアップまでできる体制が整った」とコメントした。

（社会部・下里潤）